



平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年12月11日

上場会社名 株式会社ネオジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3921 URL http://www.neo.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 齋藤 晶議  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理部部長(氏名) 大坪 慶穂 (TEL) 045-640-5917  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の業績(平成29年2月1日～平成29年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	1,695	7.4	404	29.8	419	23.3	291	26.0
29年1月期第3四半期	1,577	11.8	311	△9.9	339	△6.4	231	0.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年1月期第3四半期	19.87		19.60					
29年1月期第3四半期	16.16		15.66					

(注) 当社は、平成29年7月1日付及び平成29年11月16日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第3四半期	4,028	3,089	76.7
29年1月期	3,727	2,827	75.9

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 3,089百万円 29年1月期 2,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	8.50	8.50
30年1月期	—	0.00	—		
30年1月期(予想)				2.13	2.13

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、平成29年7月1日付及び平成29年11月16日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため平成29年1月期の年間配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮すると1株当たり2円13銭となります。

3. 平成30年1月期の業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	8.7	432	10.3	451	5.3	302	2.0	20.59

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、平成29年7月1日付及び平成29年11月16日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年1月期3Q	14,685,600株	29年1月期	14,685,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年1月期3Q	－株	29年1月期	－株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年1月期3Q	14,685,600株	29年1月期3Q	14,330,075株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成29年7月1日付及び平成29年11月16日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を計算しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな景気回復基調となりました。今後の経済動向につきましても、緩やかに回復へと向かうことが期待されます。一方で、海外においては、米国の新政権への移行による外交政策や欧州における政治リスク、北朝鮮の核・ミサイル問題の影響により、世界経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社が属するソフトウェア業界におきましては、クラウドサービスの利用を第一の選択肢として検討する企業が増加してきており、これまで以上にクラウドサービスの位置付けが高まっております。また、国内で進む「働き方改革」に対するアプローチ製品として、グループウェア製品の認知度が高まってきており、働く場所や時間を問わず利用できるクラウドサービスの需要は拡大し、今後も年11%程度の市場成長率が見込まれております。（「ソフトウェアビジネス新市場2017年版」 株式会社富士キメラ総研）。

このような状況の中、サポートサービスの契約率向上を図るため、desknet's NEO製品サイト内にお客様サポートサイトを設置し、サポートサービス契約のお客様向けに、ライセンスキーの自動再発行やオフラインヘルプのダウンロードを行えるようにいたしました。

また、7月には、当社新製品である「AppSuite」の製品発表を行うと同時に、「働き方改革」をテーマとしたトークセッション「desknet's WORK SHIFT SESSION 2017」を開催いたしました。上記「AppSuite」を搭載したグループウェア「desknet's NEO V4.0」を10月10日より提供開始しており、導入者数も着実に増加していくものと想定しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,695,064千円（前年同期比7.4%増）、営業利益は404,443千円（前年同期比29.8%増）、経常利益は419,066千円（前年同期比23.3%増）、四半期純利益は291,834千円（前年同期比26.0%増）となりました。

売上区分別の状況を示すと、以下のとおりであります。

売上区分	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
クラウドサービス	799,069	50.6	924,564	54.6
プロダクト	745,551	47.3	746,276	44.0
技術開発	33,057	2.1	24,224	1.4
合計	1,577,678	100.0	1,695,064	100.0

## ①クラウドサービス

クラウドサービスにつきましては、desknet's NEOクラウド版の利用ユーザー数が順調に推移し同サービスの売上高は674,675千円（前年同期比41.3%増）となりました。

また、ASP事業者向けの売上高は、一部事業者がdesknet's NEOクラウド版の再販に移行したことにより94,136千円（前年同期比0.4%減）となりました。

以上の結果、クラウドサービス全体での売上高は924,564千円（前年同期比15.7%増）となりました。

## ②プロダクト

中小規模ユーザー向けのスモールライセンスにつきましては、売上高は60,035千円（前年同期比11.5%減）となりました。大規模ユーザー向けのエンタープライズライセンス（旧製品含む）につきましては、特に好調であった前年第3四半期に対して、当第3四半期での大型案件の受注数が減少したことにより147,559千円（前年同期比12.7%減）となりました。

カスタマイズにつきましては、第1四半期に比較的規模が大きい金融機関向けのカスタマイズ案件があったこと、第3四半期においても比較的規模が大きいカスタマイズ案件を受注したことなどにより、売上高は64,154千円（前年同期比23.6%増）となりました。

また、desknet's NEO（旧製品を含む）のサポートサービスの売上高につきましては、堅調に推移し381,588千円（前年同期比5.0%増）となりました。

以上の結果、プロダクト全体での売上高は746,276千円（前年同期比0.1%増）となりました。

③技術開発

技術開発につきましては、過年度に受託したソフトウェアの保守売上や受託開発案件の受注により、売上高は24,224千円（前年同期比26.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末より55,876千円増加し、2,816,259千円となりました。これは主に現金及び預金が147,767千円、前払費用を主とするその他流動資産が15,477千円増加した一方で、有価証券が118,480千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末より245,621千円増加し、1,212,382千円となりました。これは主に無形固定資産が95,818千円、投資有価証券が126,241千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末より25,477千円増加し、693,480千円となりました。これは主に前受収益が67,312千円、賞与引当金が28,625千円増加した一方で、未払法人税等が21,502千円減少し、広告宣伝費等の未払金の支払い等によりその他流動負債が55,088千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末より13,622千円増加し、245,624千円となりました。これは主に長期前受収益の増加によりその他固定負債が7,816千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末より262,396千円増加し、3,089,537千円となりました。これは主に四半期純利益291,834千円が計上された一方で、第1四半期において剰余金の配当31,206千円を実施した結果、利益剰余金が260,627千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年3月16日付「平成29年1月期 決算短信」において公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

### (2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,368,277	2,516,045
売掛金	209,094	225,283
有価証券	121,855	3,374
仕掛品	9,450	5,126
貯蔵品	4,749	3,831
その他	48,538	64,015
貸倒引当金	△1,581	△1,416
流動資産合計	2,760,383	2,816,259
固定資産		
有形固定資産	43,907	40,930
無形固定資産	48,096	143,914
投資その他の資産		
投資有価証券	654,139	780,381
その他	220,925	248,010
貸倒引当金	△308	△854
投資その他の資産合計	874,757	1,027,537
固定資産合計	966,761	1,212,382
資産合計	3,727,145	4,028,642
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,891	23,022
未払法人税等	86,379	64,876
前受収益	350,235	417,547
賞与引当金	14,376	43,001
その他	200,121	145,032
流動負債合計	668,002	693,480
固定負債		
退職給付引当金	101,612	107,418
その他	130,389	138,206
固定負債合計	232,001	245,624
負債合計	900,004	939,104
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	281,215	281,215
資本剰余金	317,499	317,499
利益剰余金	2,199,085	2,459,713
株主資本合計	2,797,800	3,058,428
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,340	31,109
評価・換算差額等合計	29,340	31,109
純資産合計	2,827,141	3,089,537
負債純資産合計	3,727,145	4,028,642

## (2) 四半期損益計算書

## 第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	1,577,678	1,695,064
売上原価	439,532	394,578
売上総利益	1,138,146	1,300,486
販売費及び一般管理費	826,587	896,042
営業利益	311,558	404,443
営業外収益		
受取利息	94	27
有価証券利息	12,672	13,952
保険解約返戻金	11,121	—
その他	4,530	2,772
営業外収益合計	28,420	16,752
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	2,092
その他	—	37
営業外費用合計	—	2,130
経常利益	339,978	419,066
特別利益		
有価証券売却益	—	2,660
投資有価証券売却益	3,163	—
特別利益合計	3,163	2,660
税引前四半期純利益	343,142	421,726
法人税等	111,521	129,891
四半期純利益	231,621	291,834



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。